

予 算 要 求 資 料

令和 3 年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工鉱業振興費

事業名 **新** 岐阜かかみがはら航空宇宙博物館改修工事費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 航空宇宙産業課 企画連携係 電話番号：058-272-1111 (内 2936)

E-mail: c11354@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,059 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	5,059	0	0	0	0	0	0	0	5,059
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

岐阜かかみがはら航空宇宙博物館は建築から 25 年が経過しており、平成 30 年リニューアル時の増築部分以外からの不具合報告が多発している。貴重な展示物の保全や来館者の安全安心のために、中長期的な保全計画に基づき改修工事が必要である。

(2) 事業内容

令和 3 年度には、令和 4 年度の工事に必要となる、実施設計を行う。

工事内容 (令和 4 年度実施予定)

- ・ステンレス防水屋根の改修
- ・高圧受変電設備 (キュービクル) の更新

(3) 県負担・補助率の考え方

61.3% 県負担

指定管理者との協定により、1 ヶ所あたり 60 万円以上となる施設の修繕については、県および共同設置者である各務原市が負担することとしている。大規模修繕における各務原市との負担割合は、協定書の中で都度協議と定められており、令和 3～4 年度実施分においては、現博物館の共有割合「県：市＝613：387 (≒1.6：1)」に合わせる。

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額（千円）	事業内容の詳細
負担金	5,059	各務原市が実施設計を委託契約し、県が応分を負担
合計	5,059	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

県有施設中長期保全計画（管財課）に位置づけ

R3年度：屋根及び高圧受変電設備の改修の実実施設計

R4年度：屋根及び高圧受変電設備の改修の工事

R6年度：非常用発電機更新

空調機及びポンプの改修の実実施設計

R7年度：空調機及びポンプの改修の工事

R8年度：中央監視制御設備の改修の実実施設計及び工事

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 岐阜かかみがはら航空宇宙博物館の中長期保全計画に沿って、施設及び設備を更新し、常に快適で安全な状態を維持する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

施設及び設備の更新工事を行うものであり、具体的な達成目標を設定できない。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	<p>岐阜かかみがはら航空宇宙博物館の旧館部分（各務原市が建設）は、建設から25年が経過し、経年劣化により施設設備等の修繕が必要である。なお、リニューアル時の協定により、博物館全体を県市で共有しているため、旧館部分の修繕であっても県の関与は適切である。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>旧館部分は建設から25年が経過することから、経年劣化による不具合の発生が懸念される。このため、県有施設中長期保全計画に基づき、改修や設備更新が必要である。</p>

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>策定した実施設計を基に、改修工事を実施する。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	